日本先天異常学会 奨励賞受賞者一覧

2003 年度受賞者

河崎 秀陽氏(浜松医科大学附属病院病理部・病理学第二講座) 「大脳スライスにおける未熟グリア細胞の量とマウスサイトメガロウイルス感受性との相関」

八田 稔久氏(島根医科大学医学部解剖学第一講座) 「大脳皮質発生における gp130 の in vivo 機能解析」

松本 清氏(武田薬品工業(株)医薬研究本部薬物機能第二研究所) 「塩酸アニリン投与によって誘発されるラットの口蓋裂について:母動物のメトヘモグロビン血症による低酸素との関連性」 「塩酸アニリン投与による母動物メトヘモグロビン血症に起因した低酸素が誘発するラットの心血管系異常について」

2004 年度受賞者

坂田ひろみ氏(徳島大学医学部発生発達医学講座機能解剖) 「胎生期エタノール曝露による脳の形態異常と概 日リズムの変化」

原田 美輪氏((株)大塚製薬工場栄養研究所安全性研究室)「Infertility observed in female rats treated with N-acetyl-L-cysteine -Histopathological examination of ovarian follicles and recovery of fertility-」

藤 淳一郎氏(武田薬品工業(株)医薬研究本部) 「旋回行動(Circling behavior linked to the X-chromosome: CLX)ラットの遺伝様式並びに行動学的特徴の解析」

2005 年度受賞者

岡田 晃宜氏(アステラス製薬(株)研究本部安全性研究所) 「マウス前後軸パターン異常に関連したポリコーム遺伝 子群の発現変化:バルプロ酸と構造類縁体を用いた解析」

山田 重人氏(京都大学大学院医学研究科器官外科学(婦 人科学産科学、附属先天異常標本解析センター))

「Phenotypic variability in human embryonic holoprosencephaly in the Kyoto Collection」

2006 年度受賞者

電橋有紀子氏(島根県立島根女子短期大学家政科食物教室)「母体環境が1型糖尿病発症過程へ及ぼす影響:
モデル動物を用いた解析」

2007 年度受賞者

宇田川 潤氏(島根大学プロジェクト研究推進機構) 「マウス胎児の大脳皮質発生におけるレプチンの機能 | 才津 浩智氏(横浜市立大学大学院医学研究科環境分子医科学(遺伝学))

「二分脊椎の発生に関する胎生病理学的研究:ヒト胚における後部神経管発生過程とその異常」

藤田 秀樹 氏(慶應義塾大学医学部小児科学教室) 「バイオインフォマティックス及びマイクロアレーの手 法を用いたダイオキシン標的遺伝子の包括的な検討」

2008 年度受賞者

岡野 純子氏(京都大学医学部医学研究科生体構造医学講座 形態形成機構学)

「Involvement of apoptosis and cell cycle perturbation in retinoic acid-induced cleft palate in mice」

平田 睦子 氏 (国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験 研究センター)

「離乳前ラットにおける紫外線吸収剤 2-(2'-hydroxy-3', 5'di-tert-butylphenyl)benzotriazol の毒性影響」

2009 年度受賞者

小林 健一氏((独)労働安全衛生総合研究所健康障害予防研究グループ)

「Effects of in utero exposure to 2,2',4,4',5,5'-hexa chlorobiphenyl(PCB 153) on somatic growth and endocrine status in rat offspring.」

駒田 致和氏(京都大学大学院医学研究科生体構造医学講座形態形成機構学)

| Hedgehog signaling is involved in development of the neocortex |

2010 年度受賞者

島村英理子氏(金沢医科大学医学部分子細胞形態科学(解剖学1))「Maternal LIF promotes fetal neurogenesis via a LIF-ACTH-LIF signaling relay pathway」

2011 年度受賞者

山田真紀子氏 (Dept. of Ob/Gyn, LA Bio Med at Harbor-UCLA Medical Center)

「Ror2 is required for midqut elongation during mouse development」